

わかたけ

春日部市立武里小学校

児童数 419名 (6/1)

平成29年6月1日発行

～2020年、2030年、2045年問題と今求められている学力～

教頭 菊池 邦隆

少子高齢化、情報化、グローバル化が進展し、政治的な課題（憲法改正、経済、外交、安全保障、環境、エネルギー、雇用、震災復興、年金等）に直面している激動の社会を生き抜くには、社会の各分野をけん引する人材の育成が必要です。公助として力を発揮すべき学校は、**確かな学力**を核とした子どもたちの生きる力の育成が責務であり、信頼の根幹と考えます。併せて、教育活動の最先端にいる教員は、子どもたち一人一人の学力を確実に伸ばすため、常に学び続ける姿勢を持ちながら日々授業を創意工夫・改善し、主体的・対話的で深い学びのある授業を心がけて実践する必要があります。文部科学省教育課程企画特別部会の論点整理では、**新たな学力（育成すべき資質・能力）の3要素**を以下のように示しています。

- 何を知っているか、何ができるか（個別の知識・技能）
- 知っていること・できることをどう使うか（思考力・判断力・表現力等）
- どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか（主体性・多様性・協働性、学びに向かう力、人間性等）

中央教育審議会は平成28年12月21日に、**2030年**を見据えた教育の在り方、学習指導要領等の改善及び必要な方策等について文部科学省へ答申を行いました。答申には、日本は今後、未曾有の超少子高齢化時代を迎え、**2020年**には人口減少と年齢別人口のアンバランスさが関わる問題が起こるとあり、団塊世代の高齢時代を迎えての社会保障費負担増、不動産、IT技術者の人材不足、バブル・団塊ジュニア世代のポスト不足、多死の時代到来などの問題も不安視されています。

2030年には職業も技術革新等の影響により大きな変化が起こり、子どもたちの65%は、将来、今は存在していない職業に就く、AI（人工知能）、ロボット、3Dプリンターがこれまで人間が行ってきた仕事の65%を取って代わって行うとの予測もされています。

武里小の子どもたちが働き盛りの**2045年**、人工知能が人類を越えるシンギュラリティに到達するという指摘もあり、このことを脅威に感じている専門家もいるようです。将棋界で中学生プロ棋士の藤井聡太さんが脚光を浴びる一方で、プロ棋士を動かすロボットが開発されるなど、興味深い話題もあります。

教育分野では、高校、大学の教育内容変更に伴い、大学入試方法の大幅な変更問題が取り上げられています。2019年から2020年、知識・技能の問いが主となる「高等学校基礎学力テスト」が実施される見通しで、2020年からセンター試験に代わり、思考力・判断力・表現力の論理的レベルの問題、PISAのような問題が出題される「大学入学希望者評価テスト」が想定されています。さらに、教科型の問題に加え、合教科・科目型、総合型の問題も組み合わせ出題される模様で、各大学が個別で実施する入試では、思考力・判断力・表現力以外にも、主体性・多様性・協働性の範囲まで評価することも構想されています。

つまり、これからは、**学校で習ったことをどの程度理解しているかではなく、実生活のさまざまな場面で直面する課題について、知識や経験を活用し、自ら積極的に考える能力が求められている**のです。4月に実施された全国学力・学習状況調査の問題内容からも、このことを感じ取ることができます。暗記中心の知識習得ではなく、それを活用する力、人とのコミュニケーション力、共に何かを生み出し進める力、これらが機械に負けない人間の存在価値となっていきます。

武里小学校では、今後の教育界の動向も視野に入れ、『地域とともに歩む元気な学校』、『学べと言われるから学ぶのではなく、学ばずにはいられないから学び続ける子どもたちを育てる学校』の実現、確かな学力を核とした子どもたちの生きる力を育成のために、教職員一同、熱意、誠意、創意を持ち、本気・全力で取り組んでまいります。



集中読み聞かせ



5月10日（水）、11日（木）に全校で読み聞かせを行いました。子どもたちは、目を輝かせながら読み聞かせの世界に入りこんでいました。今年度も、読み聞かせボランティアの方々をお招きし、毎週木曜日、読み聞かせを行います。読み聞かせボランティアの皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

食育指導の充実



5月12日（金）に2年生がグリーンピースの皮むきを、30日（火）には、1年生がそら豆の皮むきを行いました。児童自身が実際に食材に触れ、給食作りの手伝いを行うことで、好き嫌いをなく食べることへの意欲付けを図っています。御家庭でもバランスの取れた食事をぜひよろしくお願いいたします。

引き渡し訓練 ありがとうございました



5月22日（月）に、引き渡し訓練を行いました。東海沖地震警戒宣言が発令されたことを想定して実施しましたが、地震以外にも、気象災害や防犯上の観点などから、児童だけで下校させることが危険と判断される事態が発生した時は、メール配信の上で実際に引き渡しを行うことも想定しています。御承知おきください。

武里小学校応援団



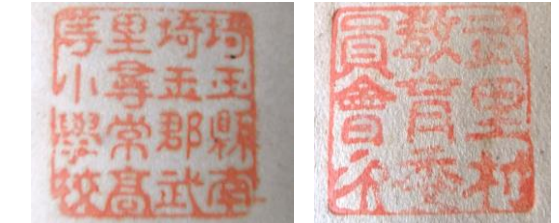
日頃から、わかたけっこの見守りや登下校時の安全確保、教育活動の支援などで、お力添えをいただいている各団体等の代表の皆様にお越しいただき、学校応援団会議を開催しました。「地域と共に歩む元気な学校」を目指して、皆様と共に、子どもたちの幸せのために「本気・全力」で取り組んでまいりたいと思います。

6月5日は開校記念日 武里小の歴史アルバム

明治5年に開校した本校は、6月5日で開校144年を迎えます。地域に支えられ、親子4代、5代と渡って本校で学ばれている御家庭もあります。長い歴史と伝統がある武里小には、今でも古くから残されているものが数多くあります。いくつかご紹介します。



昨年、校長室の戸棚を整理していた際、教育勅語を見つけました。明治創立の学校ならではのものです。



倉庫にある書籍には、時代を感じさせる印が押されています。左は昭和初期の書籍に押されていた「武里尋常高等小学校」の印。左は、戦後、春日部市になる前の「武里村教育委員会」の印です。